

平成25年度東北六県山岳連盟（協会）連絡協議会報告

報告者：佐々木副会長・清野会長

- 1、 期 日 平成25年5月18日（土）～19日（日）
- 2、 場 所 青森県八戸市シーガルビューホテル会議室
- 3、 出席者 青森県岳連 服部会長・木村副会長・川端理事長
岩手県山協 高橋会長・植田副会長・中村副会長・遠藤事務局長
宮城県岳連 相沢会長・佐藤副会長
秋田県岳連 佐々木会長・池田副会長・佐藤理事長
福島県岳連 尾形会長・三森副会長・佐藤理事長
山形県岳連 清野会長・佐々木副会長 17名出席

川端理事長の進行で開会、青森県岳連 服部会長から協議会開催における謝辞、日山協の理事を5月の総会で任期終了となり、次年度は岩手県山協の高橋会長にバトンを渡すこと。震災復興国立公園に本地域を含め新たに三陸沿岸や階上岳などが生まれ変わる旨挨拶。

全体会に入り、東北選出服部日山協理事から日山協の近況が報告された、来週25日日山協の総会が予定され東北選出理事が岩手県が担当する、公益法人に組織替えとなり地方岳連を取り巻く状況が大きく変化する、など日山協理念の明確化、登山者登録制度、地域ブロックの強化、国際会議の国内（広島）開催について5月11日平成25年度第1回理事会の内容が報告された。又共済事業の報告では全国の加入者が54,035人となり前年より2643人が増加したことによる内容の報告があって、引き続き各県にあっては加入者の増加を進めることなどが報告された。

東北地区選出理事の改選について、青森岳連服部会長から25・26年度は岩手県山協高橋会長に引き継がれることが了承された。5月25日の総会で発足となる。

次に東北六県の共通諸行事について、各岳連が持参した総会資料により平成25年度事業を説明。指導員認定研修会・SC指導員認定研修会の日程が報告された。

次に第40回東北総合体育大会について山形県から実施要項と役員派遣依頼、更に審判会議の内容について説明。

そのた、運営、自然保護、指導、遭難、海外などについて議論協議がなされた。翌日は、朝食後会議室において、個人会員制度とその加盟実態、更に登山者登録制について、又新たに日山協が認定しようとしているハイキングリーダーについて議論された。

各岳連抱える共通した内容や案件などはやはり東北六県それぞれ事情が違うのか、議論してもなかなか前に進めないのが実態なのか。帰路佐々木副会長と車中で話していることは将来に向けた岳連や登山者、加盟団体の組織の脆弱化、後継者不足による組織維持の難しさがいつ終わるともなく続いた。

文責：清野